

自分に自信・仲間に信頼・人に感謝



校長 小林 正樹

まもなく立春、暦の上では春となります。吹く風は冷たく気温もまだまだ低いですが、ときに陽射しから力強さを感じます。保護者、地域の皆様に於かれましては、本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、生徒の皆さんが、自分らしく幸せな人生を歩んでもらうために、大切なことについてお伝えします。1つ目は「受容」です。まずは自分を受け入れてください。自分を好きだと思い、自分にいいね！を出しましょう。人と比較するのではなく、自らができていると認め、自分を褒めてあげてほしいのです。2つ目は「信頼」です。自分だけでなく、他人にもいいね！を出せる状態です。社会は様々な人が集まって成立しています。これからの人生でつながっていく一人ひとりに個性があり、良さがあります。他者がもっている良さに気づき、認められる人になってください。互いの良さを知ることによって良好な関係性が生まれます。2つ目は「貢献」です。自分が役に立っている感覚をもってください。これまでの学校生活や家庭生活でも、自分が集団や家族に寄与できていると感じたことがあったと思います。協力することや助け合うことで集団の絆を深められた経験があるはず。仲間や家族から「ありがとう」の言葉をもたらしたときに喜びを感じた人も多いと思います。進んでみんなに貢献できる人になってください。「受容」「信頼」「貢献」を大切に、自らが幸せだと感じる人生を歩んでくれることを願っています。

3年生は、これから埼玉県公立高等学校入学者選抜の入試が続きます。体調を整え、ラストスパートをかけてください。「受験は団体戦」とよく言われるように、全員の受験(検)が終わるまで、学年として今の雰囲気や士気を崩さず頑張り、みんなで「春」を迎えてほしいと願っています。

話は変わりますが、パナソニック創業者の松下幸之助さんの本を何冊か読みましたが、その中で、私なりに感銘を受けた言葉を紹介します。

「自分は自分である。何億の人間がいても自分は自分である。そこに自分の自信があり、誇りがある。自分自身に正直に生きようとする、成功することもあります。失敗したり、落ち込むこともあり、ときには重大な決断をする勇気が必要なこともあるでしょう。それでも多くの人がいる中で、自分自身を生きられるのは、自分だけです。」

「自分は自分らしく」と自分の道に向かって踏み出す時に心に響く言葉です。そして、私がいつも言うように、「自分を大切にして、他の人も大切に」してください。

感染症予防について、ご家庭におかれましても、検温、手洗いの徹底等の取組を引き続き、よろしくお願いいたします。

被災された皆様へ

石川県能登地方で大規模な地震により、お亡くなりになられた方々に、お悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に、心からお見舞い申し上げます。

多くの子供たちが、不自由な生活によって、不安な日々を過ごされていることに胸を締めつけられる思いです。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。